大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2025年 第49週（12月1日～12月7日）

今週のコメント

～インフルエンザ～　咳エチケット、手洗い、マスクの着用、ワクチン接種が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ2週連続減少も、今後の動向に注意」

第49週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は1,458例であり、前週比14.7%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、RSウイルス感染症、流行性角結膜炎、伝染性紅斑の順で、定点あたり報告数はそれぞれ3.50、1.86、0.91、0.54、0.49である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比14%増の648例で、中河内4.95、大阪市南部4.71、南河内・大阪市西部4.60、三島3.82であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は40%増の345例で、南河内3.07、北河内2.43、大阪市南部2.41である。

RSウイルス感染症は7%減の168例で、南河内1.47、大阪市北部1.46、北河内1.43であった。

流行性角結膜炎は15%減の28例で、豊能2.20、泉州1.50、大阪市北部0.60である。

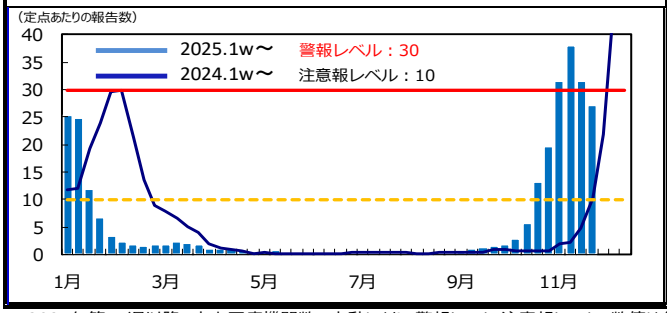
伝染性紅斑は21%増の91例で、南河内1.47、泉州0.90、北河内0.87であった。

インフルエンザは14%減の7,852例で、定点あたり報告数は27.08である。北河内35.55、中河内35.31、南河内32.35、大阪市北部29.55、大阪市西部28.93であった。年齢別割合では０歳～14歳までが5,954例で全体の75.8%を占めていた。

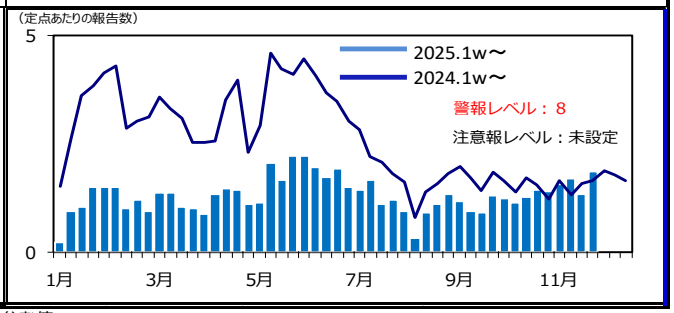
新型コロナウイルス感染症は20%減の193例で、定点あたり報告数は0.67である。北河内1.03、大阪市東部0.90、堺市0.88、南河内0.78、中河内0.69であった。

急性呼吸器感染症（ARI）は、５%減の15,973例で、定点あたり報告数は55.08である。南河内81.61、北河内69.21、中河内64.00、堺市59.52、泉州58.79であった。

インフルエンザ



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2025年 第49週12月1日～12月7日）

第49週の順位	第48週の順位	感染症	2025年第49週の定点あたり報告数	前週比増減	2024年第49週の定点あたり報告数	2025年第49週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	3.50	14%増	5.16	１歳_15%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.86	40%増	1.65	10-14歳_17%
3	3	RSウイルス感染症	0.91	7%減	0.83	１歳_35%
4	4	流行性角結膜炎	0.54	15%減	0.37	20歳以上_57%
5	6	伝染性紅斑	0.49	21%増	0.13	４歳,５歳,６歳_16%
参考		インフルエンザ（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	27.08	14%減	10.05	10-14歳_20%
参考		新型コロナウイルス感染症（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	0.67	19%減	1.36	70-79歳_15%
参考		急性呼吸器感染症（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	55.08	5%減	-	1-4歳_30%

2025年第15週から急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection：ARI)サーベイランスが開始となりました。

2025/26年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ（定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報 ）をご覧ください。

第49週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加するが、2025年は秋以降も報告数が多いことから、引き続き注意が必要である。

腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）

腸管出血性大腸菌感染症（詳細版）（国立健康危機管理研究機構）

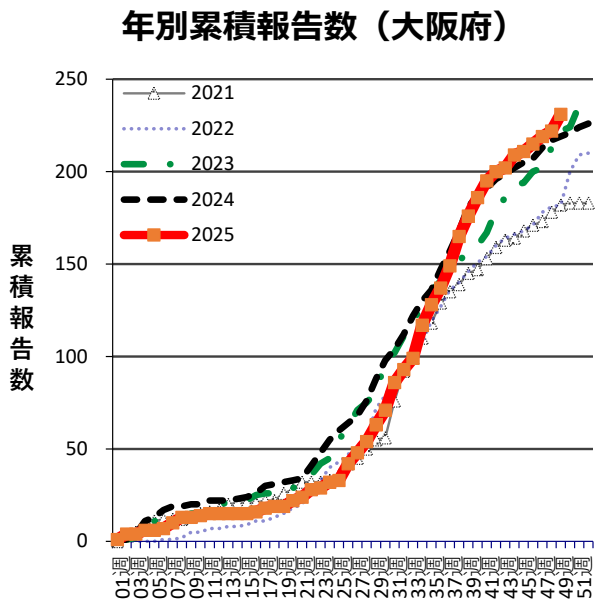


表２．大阪府全数報告数（2025年 第49週12月1日～12月7日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （　）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**9**			7	1		1			231
４類感染症	**デング熱**	**1**							1		18
	レジオネラ症（肺炎型）	**3**					1		1	1	144
５類感染症	**急性脳炎**	**2**							2		14
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**1**								1	94
	侵襲性肺炎球菌感染症	**3**	3								291
	水痘（入院例）	**2**		2							53
	梅毒	**17**	1			3			1	12	1,584
	百日咳	**18**	5		1	4	1		4	3	3,244
結核 （2025年10月分）	**結核　新登録患者数：80名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　34名） **（府内累積報告数　964名、内　肺・喀痰塗抹陽性　341名）**										

（2025年12月9日　集計分）